

中学2年生（新中学3年生 英語）助動詞演習

1、次の英文を日本語に直しなさい。

(1) It will be dark soon.

(2) Will you pass me the salt?

(3) Will you have some tea?

ポイント

助動詞willには主に、3つの使い方があります。「未来」「依頼」「提案」
また、will = be going toへの書き換えも忘れずに。

2、次の英文を日本語に直しなさい。

(1) He can speak a little Chinese.

(2) Can I have another cup of coffee?

(3) Can you help me?

(4) May I go home now?

(5) Kumi may be sick.

ポイント

助動詞canには「可能」「許可」「依頼」の表現があります。
また、助動詞mayには「許可」「推量」の意味があります。

3、次の英文を日本語に直しなさい。

(1) You must watch your step.

(2) Your father must be tired.

(3) You must not enter this room.

(4) We have to take off our shoes here.

(5) Tom doesn't have to start now.

(6) I had to get up early yesterday.

(7) You should come here on time.

ポイント

助動詞mustには「義務」「強い推量（～に違いない）」という
意味があります。また、疑問文では（～しなければなりません
か？）という義務の確認でいいのですが、否定文では「禁止」
の意味となります。

また、have toの形でも「義務」を表すため、書き換え問題で
の出題が多い傾向にあります。否定文はdon't(doesn't,didn't)
が使われ、need not～（～する必要はない）という若干弱い否
定になります。

応用：Do I have to clean my room now?

No, you don't have.

shouldは「弱目の義務」「当然」「勧誘」を表すときに使われ
ます。

4、次の英文を日本語に直しなさい。

(1) Shall I help you? — Yes, please.

(2) Shall we play soccer? — Yes, let's.

(3) I would like to go to Africa.

(4) Would you please say it again?

(5) Would you like some tea?

(6) I would often go fishing in the river.

ポイント

Shall I～?・・・I (私が) に注目 = 「提案」

Shall we～?・・・we (私たちが) に注目 = 「勧誘」 = Let's～

※wouldの使い方 (willの過去形→したものだ)

1、would like to～・・・want to～より丁寧な言い方

2、Would you～?・・・Will you～?より丁寧な言い方

3、Would you like～?・・・「勧誘」

いずれもリスニング問題や会話文で使われることが多い、

ここまでの「助動詞」の使われ方がまずはマスターできていれば公立高校入試レベルの問題や英検3級程度の問題であれば苦労することはないだろう。

ただ、英語に対する「苦手意識」がある生徒はどうしても時間がかかってしまう。ではなぜ「苦手」なのか。それは自分が勝手にそう思い込んでいるだけ。自分が勝手に難しく解釈しようとしているだけ。その意識を取り払えば今からでも英語を得意教科に変えることは可能だ！

5、おまけ（応用編）

(1) You **had better** go to bed at once.

→あなたはすぐに寝たほうが良い。※had betterで1セットとして使う。

(2) You **had better not** eat too much.

→あなたは食べ過ぎないほうが良い。※notの位置に注意すること。

(3) They **used to** be a store here.

→以前ここに店がありました。※used to～・・・以前は～だった（過去の習慣）

(4) We **ought to** help each other.

→私たちはお互いに助け合うべきです。

※ought to～・・・～すべき（shouldより強め）、否定はought **not** to～

(3) や (4) は私立高校入試での出題が主であるため、公立高校上位校を受験しようとして検討している生徒は覚えておくべき。

模範解答

- 1、 (1) すぐに暗くなるでしょう。(2) 塩を取ってくれませんか。
(3) お茶はいかがですか
- 2、 (1) 彼は中国語を少し話すことができます。
(2) コーヒーをもう一杯いただけませんか。
(3) 私を手伝ってくれませんか。(4) 今、帰宅してもいいですか。
(5) クミは病気かもしれない。
- 3、 (1) あなたは足元に気をつけなければなりません。
(2) あなたの父は疲れているに違いない。
(3) あなたはこの部屋に入ってはいけない。
(4) 私たちはここで靴を脱がなければならない。
(5) トムは今始める(出発する)必要はありません。
(6) 私は昨日、早起きをしなければならなかった。
(7) あなたは時間通りにここに来るべきです。
- 4、 (1) お手伝いしましょうか。－ はい、お願いします。
(2) サッカーをしましょうか。－ はい、そうしよう。

※Let's play soccerへの書き換えも可能。

もしくはWhy don't we play soccer?

How about playing soccer with us?などもあり

- (3) 私はアフリカへ行ってみたいものです。
- (4) もう一度言っていただけませんか。
- (5) お茶はいかがですか。
- (6) 私はよく川へ釣りへ行ったものだ。